昭和43年7月22日第3種郵便物認可

6月1日現在の世帯と人口
人口 7,073人 男3,536人 女3,537人
（前月より53人増）
1,607 世帯
（前月より14世帯増）

広報 いながわ

毎月1日発行 定価10円

猪名川町役場
兵庫県川辺郡猪名川町
柏梨田字前ケ谷168番地の1
編集発行 管理課

ゴミ集め週二回に

生活水準の向上につれ、一人当たりが出すゴミの量は、年ごとに増加しています。これを完全に処理していくことは、現在、どこの市や町でもかかえている共通の悩みとなっています。

そこで、町では七月からこれまで一回であったゴミの収集を、二回にふやすことになりました。

町が昨年中に週一回の回収で、集めたゴミは一万七千二百八十七袋。一世帯当たりにすると十一・五袋。四十五年にくらべ一挙に約六倍にふえたわけで、この量は、今後さらにふえることが予想されています。

この処理に町では全力をあげて努力いたしますので、みなさんも次のことをぜひ守っていただき、スムーズなゴミ処理ができますようご協力ください。

これから週二回、家庭のゴミを集めます

ゴミの収集日は

毎週月曜日は北地区、火曜日は南地区、金曜日は全地区の一般家庭のゴミを集めます。事業所は月曜日と金曜日、粗大ゴミは第一、第三火曜日です。

ご家庭で守っていただきたいこと

ゴミは袋詰めで、口をあらなわなどでしばり、ご近所でまとめて一定の場所に収集日の朝九時までに出してください。新しいゴミ車は、四トン積みでこまわりがききませんので、できるだけ一カ所に集めてください。場所は、自治会と協議して決めます。集積の場所に何日も前から出しておくと不衛生で、町の美観をそこね、ご近所の迷惑になります。袋にはるステッカーは家庭用が一枚十円。事業所用が一枚五十円。これが手数料のかわりですから、袋にはるのをお忘れなく。希望者は住民課へお申込みください。

□粗大ゴミは一、三火曜日に

鉄クズ、トタン類、一輪車などの農業用機械器具、自転車、家具、建築廃材など、簡単に変形できないものや、大きすぎるものは、新しいゴミ車では回収できません。

これらの粗大ゴミは、第一、第三火曜日に、これだけの収集を行ないますので家庭からのゴミとは別にして出してください。

集めたゴミは袋ごと埋立処理しますので、石ころ、かわら、どろ、犬、ねこの死体、爆発するおそれのあるキケン物、農業などの有毒性のものは、袋の中に入れないでください。これらのものは回収しません。

ゴミ追放作戦を展開

不法投棄防止でパトロール

ゴミの不法投棄をなくそうと、町は川西警察署員の協力で、六月から町内ゴミ追放のパトロールを始めました。

これは猪名川町が、山間部であるため、通行のとだえたときや、夜間をねらって、町外から車で大量にゴミをすてにくる不心得な人が、後を絶たないためで、町内でゴミ不法投棄の目立つ場所は国道百七十三号線のほか、猪渕—宝塚間、切畑峠、篭坊峠、川床—西谷間、上阿古谷—西能勢間など。とくに県道川西—篠山線からわき道にそれた、人家のないところが多く、環境が悪くなるばかりか、町の美観をそこねています。

第一回のパトロールは六月二十日夜行ない、町内の人が車を使って建築廃材を捨てていたのを発見、さっそく回収を命じ、川西警察署からも厳重に警告を発しました。

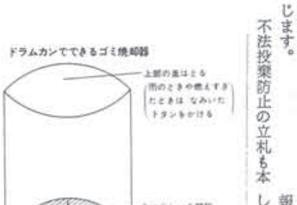
「自分の住む町を自分の手で汚すとは…」と、当夜パトロールした警察署員や町職員もあきれた表情でしたが、このパトロールは今後も強化。投棄現場をおさえることのほか、ゴミから投棄者を割出し、回収を命じます。

不法投棄防止の立札も本数をふやします。みなさんのなかで、不法投棄を発見されたときは、車の番号、特徴などを町役場企画振興室か住民課へ通報してくださるようお願いします。

家庭でできるゴミ処理

ドラムカン利用の焼却器で

家庭で簡単にできるゴミの焼却方法を紹介しましょう。



ドラムカンでできるゴミ焼却器
上部の蓋はとる
雨のときや燃えすぎたときは なみいたトタンをかける
2cmぐらいの間隔
ドラムカンよりすこし小さくしてとりはずし出来るように
底の水ぬき穴
灰のかき出し口

大西義隆さん（万善）のお宅では、ドラムカンでつくった簡易焼却器を使って毎日のゴミを処理されています。この簡易焼却器はドラムカンの上部にあたる部分を取りのぞき、下部に灰のかき出し口を切り取ります。これに十徳のようなスを組合せた簡単なもの。

八方スチロールから茶カスまで燃えるものは少々湿ったものまでどんなものでもオーケー。大西さんは、「これを使いだしてから数年、毎日のゴミが始末出来て家の中がきれいになった」とご自慢のようす。

一回作れば二年はもち費用も三千円程度。町のゴミ集収を待たないでもゴミの始末ができ、灰もクリ園などに捨てると肥料になり、誰にも迷惑をかけないで済むので一挙両得。

カンズメやジュースの空カンもいっしょに焼くとつぶしやすく一年もすれば腐ってなくなってしまい、家で始末できないのは空ビンだけとのこと。

ちょっとした工夫で、ゴミの自家処理ができます。ご参考までに。

町政アンケート

ご意見伺います

町は、これからの町づくりに対するみなさんの生の声を聞くため、近く町民七百人にアンケート用紙を配り、回答をお願いすることになりました

町民全体の動向を的確につかむとともに、町が現在取り組んでいる〝開発と調和の町づくり〟に、みなさんの意見を反映させることをねらいとしたもの。

あなたにもしアンケート用紙が届いたら、家族のかたとも相談願い、建設的なご意見をお寄せください。

調査対象は、基本選挙人名簿から無作為抽出で選ばれた七百人で、テーマは生活に関係の深いゴミ、水道のほか老人問題など。アンケートの方法は各項目ごとに必要と思われる事項を列記し、それを選択してもらう仕組みで、問題ごとに回答者の自由な意見も記入してもらえるようになっています。

町の開発方針や町政全般にわたる意見、要望などがありましたら、このときぜひ、お聞かせください。

私たちの町を住みよくするために、あなたの卒直なご意見をお待ちしています。

危険箇所に監視の目

災害パトロールを強化

六月八日の集中豪雨で、町内で総額一億二千余万円の大きな被害を受けたことは、すでにご存知のとおりです。被害を受けられたかたがたに、心からお見舞い申しあげます。

この災害によって、開発関係者に自然の恐しさを思い知らせ、あらためて防災工事の必要性を痛感させる結果となりました。

町では、これを機会に災害パトロールを強化、造成現場を巡回して危険箇所を発見しだい改善命令を出すことにしています。

複雑化していく工事に対しては、設計書をいっそうきびしく検討する方法もとりいれています。

町内で土地の開発をするには、都市計画法、農地法、砂防法、公園法、森林法などの法律や県条例、町条例のうち少なくとも一つ以上の規制があり、無許可で土地の形を変えることは出来ません。

しかし、このような法律や条例も、規制の万全をきすことのできない盲点があり、今回の災害もこの盲点をついて起こったものと思われます。

たとえば、違反工事を行なっても、罰則が軽いため、災害が起きるまで警告と警告無視の「いたちごっこ」の繰返し。

今後このような災害を起こさないために町の責務は重大ですが、事業者や地主その周囲の住民のかたも無謀な土地の開発をすれば、思わぬ所で災害がおきるということを認識して、事業者の選定に気をつけ、土地の売買が終わる前に、町の関係者と相談して契約を結ぶなり、災害準備積立金といったものを全工事費の何割か予託させるというような方法をとり入るというのも一つの方法ではないでしょうか。

町は、これからの開発行政を行なうにあたって、今回の災害を教訓として、よりきめのこまかい指導をしていくつもりです。

よろしくご協力をお願いいたします。

体力づくりや肥満児予防にどうぞ

町営いながわプール 万善 川床口

7月1日開場（午前10時—午後6時）

料金			
大人		1回	100円
大学	高校生		50円
小人	（中学生以下）		30円
団体	20～50人まで		1割引き
	51人 以上		2割引き

規格にあった配管を

新・改築の給水工事のとき

埋設を待つばかりの200㎜の水道管。万善で。

これから家の新築、改築で屋内給水工事をされるかたは、将来の水道加入に備えて標準規格によるものを設置してください。

四十九年給水開始、五十五年に全町給水を目標とする町の水道事業は、六月二十日から北田原（大井）ー万善間の県道約一、三キロメートルで、配水管布設工事を始めています。本格的な工事は十月からですが、本管から各家庭への引き込み工事や屋内工事は、加入者の費用負担となります。

今、町内で多く使用されているホームポンプの配管は、ビニールパイプが多く使われており、町の水道がはいれば圧力が違うため割れて使用できません。

今から加入に備えて器具工法など標準規格によるものを設置してください。

加入のときの圧力検査などで取りかえが必要となると、無駄な出費をすることになります。

くわしくは水道工事専門店のかたか町役場水道課へお問い合せください。

2人ふえ18人

心配ごとの相談相手に

民生委員

ふつう生活保護家庭の相談でおなじみの民生児童委員が、二人ふえ、七月から十八人で民生活動にあたります。

民生委員は、保護が必要な人の家庭の保護や指導、低所得者の更生指導、社会福祉や心配ごとのある人の相談などを行ないます。

七月から民生委員として活躍していただく人は、新宅才二郎（猪渕）　渡瀬明男（鎌倉）。

現在民生委員として活躍されている人たちはつぎのとおりです。

野路康夫（内馬場）　仲井義純（上阿古谷）　原田常山（北田原・民生委員協議会総務）　松原光子（南田原）　桝川はる（紫合）　福田雅夫（柏梨田）　山内あき子（広根）　湯之上義雄（肝川）　田中貴美（槻並）　福井喜代栄（木津上）　庵原秀子（林田・副総務）　大山茂胤（笹尾）　福井美稔子（清水）　森田一夫（西畑・副総務）　奥村正夫（杉生）　古岩喜作（柏原）

損害評価委員

今年の三月で、任期満了となった農業共済の損害評価委員に、次の人たちが決まりました。

▽農家から

井谷真一（下阿古谷）　新宅才二郎（猪渕）　北山幸男（広根）　中田孫一（南田原）　水越晋作（槻並）　大西光雄（林田）　中村太問（鎌倉）　中林勝五郎（柏原）

▽団体から

野路肇（中谷農協）　福原良夫（六瀬農協）　村田正一（農業改良普及員）　辻邦雄（産業課長）　森田弘道（産業課）

この人たちはこれから三年間、水稲共済や建物共済の損害評価などに尽力してくださいます。

輸血代金が無料に

事故や病気で輸血を受けたとき、血液代金のうち保険給付以外の自己負担分を県が支払う制度ができました。

対象は、県内に住むか、県内の血液センターで、輸血を受けた日前三年以内に献血をしたひとと、その親族。別居の場合は二親等内の血族、姻族で、輸血後六カ月以内に献血した親族のあるかたも含まれます。

この制度は、ことし四月一日からで、該当のかたは輸血日から六カ月以内に献血手帳をそえ、町役場住民課へ申請してください。

警察官募集

▽受験資格

昭和二十七年七月一日から二十九年六月末生れで、高校卒業以上の学力があり心身ともに健全なかた。

▽申し込み

七月上旬〜七月下旬に川西警察署で、受験申し込み書をもらい県警警務課へ。

▽試験日

八月上旬の予定。

なお、くわしくは、町内各駐在所か川西警察署警務課まで。

お知らせコーナー

特設分団員決まる

常備消防の特設分団員に西村忠雄（紫合）今仲基二（上阿古谷）北浦紀男（広根）奥野光男（清水）大島孝昭（南田原）の五氏が決まりました。

この人たちは消防学校の講習を受けたあと十月から町役場の消防詰所で、夜間と日曜、祭日に一班二名二班の交代で勤務にあたります。

なお、奥野光男さんは、来年の四月以降に勤務の予定。

年金保険料変更

国民年金の保険料が、（現行四百五十円）が、今月から五百五十円になります。

これは昭和四十五年の年金額の大幅引き上げのとききまっていたことですが、加入者の負担を少しでも軽くするため、百円分が二年間すえおかれていました。

施設見学の参加者募集

町は、七月二十一日に行なう町内施設見学の参加者を募集。

見学場所は、阪急日生ニュータウン造成現場や東光寺、大野山、尼崎高原ロッジ、銀山など。定員二十五人になりしだい締め切ります。

希望者は、十五日までに企画振興室へ。

連P講習会

町連合育友会は、十日午前十時から大島小で。

川本昌彦摂丹児童相談所長から「子どもの教育と家庭責任」についての話があります。

声のポストの利用を

苦情処理や町政に対する住民の声を聞くため町内十五カ所に声のポストがお待ちしています。

生活教室

産業課では、農家の主婦を対象に柏原公民館で七月三日午後一時半から生活教室の開講式を行ないます。

これは来年三月まで月一回の割で、主婦の過労、更年期障害など健康管理の指導、野菜（冬もの）の作りかたや料理など家庭生活全般についての講習や研究をするもの。

農地の登記を

自作農創設特別措置法などで昭和二十七年十一月以前に農地の売渡を受け登記がまだすんでいない人は、早目に登記をすませましょう。

今なら登録税がかかりません。

町農業委員会では、このようなかたの相談に応じています。

相談には、売渡通知書をご持参ください。

いちご品評会

六月一日に行なわれたいちご品評会は、一次選考で残った三十点についてそれぞれの畑で審査した結果、次のとおり入賞者が決まりました。

▽知事賞　中村秀雄（鎌倉）　▽神戸農林事務所長賞　紺家清（広根）　▽一等賞　桝川昌雄（紫合）　▽二等賞　新家常次（猪渕）　上殿健一（下阿古谷）　▽三等賞　末松士郎（清水）　中元十一（鎌倉）　浦中義次（下阿古谷）

表彰は十一月に行なう猪名川祭りで行ないます。

郷土会館祭

七月二十一日（金曜日）から二十三日（日曜日）まで毎日午前十時から午後八時まで尼崎市立産業郷土会館で「ふるさとの観光と物産展」が行なわれます。

昨年は町から椎茸の生えた原木、生椎茸、乾燥しいたけ、ふきのびんずめなどを出品。

しいたけの生えた原木が観賞用にと好評だったので町でも今年もこれ等をおもに出品する予定です。

県政への橋渡しに

県民の声を県政に反映させようと、県は今年度からコミュニティ・レポーターの制度を設け、町で、つぎのかたを任命しました。

中西清（木津）　田中貴美（槻並）　橋本義雄（広根）

この人たちは、住民に県政に対する正しい理解を深め、県に住民の意志を的確に伝えるのが役目です。

蜜蜂の家生徒募集

身体障害者のための洋裁研究所「蜜蜂の家学園」が入園希望者の募集をしています。

対象者は、重度の身障者で、義手でも手の使える人。

但し、女性に限り、ろう唖者、知能指数の低い人でないことが条件。

入園期間は五年（予科二年、本科二年、研究科一年）授業料・寄宿料は、いりません。

希望の方は、猪名川町差組、電〇七二七ー六六ー〇七二六、安田テイスケさんへ。

話題募集

町役場管理課では、町の話題を求めています。

皆様のまわりでおこったり、計画されていることで多くの人に知ってもらいたいことがありましたらお知らせください。

雑記帳

人口、半年で90人の増

猪名川町の人口で最高は三十六年九月一日現在の七千三百九十四人、最低は四十五年六月一日現在の六千六百六十六人。

この十年間で七百二十七人の減。

今年の一月から六月までに九十一人、月平均十五人の増加。

慶弔

およろこび

広根	前田真希子	5・16	敏夫、香代子
広根	村山　久子	5・19	進、加栄子
南田原	並川　武史	5・21	清、令子
紫合	東田　裕子	5・26	邦介、節子
上野	中井　亜紀	5・28	重樹、絹子
鎌倉	渡瀬　博文	5・30	静夫、良美
西畑	芝　靖行	5・30	祥弘、貞子
並槻	北上　潤也	5・31	優、利子
北野	福村　有司	6・6	吉孝、瑞恵
上野	中井　和弥	6・8	松弥、三和子
下阿古谷	井谷小百合	6・13	正雄、千代子

おくやみ

栃原	大上冨三郎	5・23	61
笹尾	上田　いわ	5・27	74
杉生	森田　久子	6・8	14
木間生	南松太郎	6・13	92
下阿古谷	前岡隆夫	6・18	41
広根	川上喜代松	6・19	77

明るく正しい選挙

ポスターの作品募集

(1) 内　容　明るく正しい選挙をおしすすめることを表現するもの
(2) 応募資格　小学校、中学校、高校の生徒で1人1点自作のもの
(3) 提出期間　9月7日まで
(4) 提 出 先　猪名川町選挙管理委員会へ
(5) そ の 他　色彩は自由、大きさ　45㎝×30㎝から55㎝×40㎝以内、作品はお返しいたしません。
(6) 賞、文部大臣、自治大臣連名の賞状、県選管連合会長からの副賞

主催　県選挙管理委員会　　共催　文部省　自治省

□ 職　　種　事務職員　技術職員（土木、建築）
□ 受験資格　昭和48年3月卒業見込か昭和47年3月以降卒業したひと。
大学卒ー昭和24年4月以降に生まれたひと。
高専卒ー昭和26年4月以降に生まれたひと。

町職員を募集します。

□ 待　　遇　基本給　大学卒　45,800円　　高専卒　41,400円
（いずれも昭和47年4月1日現在のもので給与改訂によって増額見込み）ほかに通勤、扶養、期末勤務手当てなど。
□ 第一次試験　7月23日（日）午前8時30分　町役場
□ 受験手続　7月3日〜7月15日　町役場管理課

夏休みをみんなで楽しく

こども広報
いながわ

こども広報
編集委員会

小、中学校は、二十一日から、いっせいに夏休み。夏休みに入ったら…と、さまざまな計かくをもっていても、あつさと休みの気楽さから、毎日ごろごろと送ってしまう…。そんなことはないでしょうか。

町教育委員会は、この夏休みに、キャンプや水泳の大会を、つぎのとおり行ないます。

みなさんいっしょに参加してください。

楽しい計画がいっぱい

キャンプや水泳、ソフトボールも

▽町青少年交歓キャンプ大会＝八月十日から一泊二日の日程で、中谷、六瀬中学校の二年生約百二十人が参加、ゲームソングや、キャンプファイヤーを楽しみます。

▽野外活動初級指導者研修会＝七月一日から一泊二日の日程で。町内小学校五、六年生十二人が、しかた、はりま、よかわ、いなみ町のおともだちといっしょに加古郡の稲見町キャンプ場で、テントのはりかたなどを習います。

▽第十一回阪神地区青少年交歓大会＝猪名川町の近くのあしや、西宮、尼崎市などのお友だちと親しくなるため、八月二日から二泊三日の予定で三田市木器の伊丹市野外活動センターで、中学二年生の男女十六名が各市から参加します。

▽町内少年ソフトボール大会＝小学校区ごとの予選大会です。参加資格は小学校四～六年生。勝ち抜いたチームは、八月二十四日ごろ校区の対抗戦を行ない優勝チームは、二十八日にある摂播福祉管内のソフトボール大会に出場します。

▽泳力検定

笹尾、広根の学校プールで、全小、中学生を対象に行ないます。

みなさんが、どれくらい泳げるかを、調べるものです。

このほか、泳げないおともだちのために、町体育協会が水泳教室を開く計画もあります。

夏は健康つくりのとき。海や山にでかけますがいった先を汚さないようにしよう。

学習のはげみに

学年評定やめわかりやすく

小学校通知票

ここは、おとうさんやおかあさんに読んでもらってください。

今学期から、町内小学校の通知票が「はげみ」と名が変わり、内容が大きく改正されました。

これまでは教科ごとに、○ふつう、◎すぐれている△ややおとる、がつけられそのこどもが、学年内でどれくらいできるかーという率を考えた評定法でしたがこれをとりやめ。本人だけについての所見、「学習の記録」を「学習のようす」欄として、科目ごとにこまかく具体的内容にわけ、そのこどもが、どのように伸びたかを「よくできる」「できる」「もうすこし」の三段階で評価するようになっています。

これまでの方法では、評定に学年内の率があり、こどもが努力しても、通知票にあらわせない面がありました。そこで、町小学校通知票改訂委員会（委員長、玉川隆一楊津小学校長）が中心となり、全教職員が昨年末から約半年間、検討を続けてきました。

同委員会は、これまでの通知票について、父兄に、ほんとうに知りたいことを通知し参考となっていたかわかりやすくて、こどもを励ます材料となっていたかこどもの長所、短所が知らされず、競走心をあおる面があったのではないかなどを反省。

改善は、学年内の相対評価をとらないことを原則に勉強の方法や努力点をわかりやすくあらわす、学習カテル（診断票）として、学習意欲の向上に役立つものにと、検討を重ねてきました。

玉川校長の話「通知票はこどもの学校生活、健康状態の長所、短所を家庭に通知、父兄とこどもに反省と励ましを与えるためにあるとみるべきだ。

今後は学年ごとに、成長過程にあわせた通知票を考えたい。」

学校がきれいになる

水のみ場やろうかも

町内の開発が進むにつれて、大型車の通行がはげしく、猪名川幼稚園では、先生のお話が聞えないことがあるので、道路に面した窓を三十五万円をかけて防音まどにとりかえます。

これで幼稚園の教室が静かになり、遊ぎや勉強にはげめます。

町教委ではこのほかに、みんなが楽しく勉強できるように、次のような改善の計画をたてています。

▽中谷中学校

保健衛生室の改善が三十四平方メートルを二十三万四千円で。二階教室の転落防止さく六十六メートル分と、通路のひさしを九万五千円をかけて修理。

▽六瀬中学校

給食配膳室六・六平方メートルが新しく十三万三千円で用務員室と校舎の間につくられたほか、便所を十五万円で改善。登校道路幅四メートル、長さ百二十メートルの舗装を二十九万八千円。一階の床百三十平方メートルを三十万円ではりかえる予定です。

▽猪名川小学校

幼稚園前の水のみ場が小さいため、二十万円で衛生的で大きなものにつくり変えます。このほかサッカーゴール、野球のバックネット、学校周囲の金網が二十万円で、教室のぬりかえが十万円で行なわれます。

▽阿古谷小学校

ブランコが五万円で新しくなるのと、ろうか、げんかんのてんじょう二十九・七平方メートルがはりかえられます。

▽楊津小学校

学習菜園の敷地と裏門入口のみぞが十万円で。コンクリート張りの講堂二百四十三平方メートルを、体育館としても使えるように九十五万円で木の床にはりかえます。

▽大島小学校

現在の給水施設が水洗便所、手洗いなどで水の使用量がふえたので、十五万円をかけて増設。このほかに各学校でいたんだところの修理や新設を行ないますが、その費用は今年一年で五百十二万円が使われます。

福田さんからピアノ

北野の福田純三さんから六月七日、中谷中学校へピアノを買ってください―と現金三十九万円の寄付がありました。

同校のピアノは二台あるが、一台が古くなり生徒たちから「新しいピアノが欲しい」の声がでていたのを聞かれたからで、みんな大喜び。

早く、じょうずにひけるようになりたいといまから大はりきりとのことです。

六瀬中の修学旅行

六瀬中学校三年生五十四人は、七月一日から二泊三日の日程で、東京、富士五湖方面へ修学旅行します。

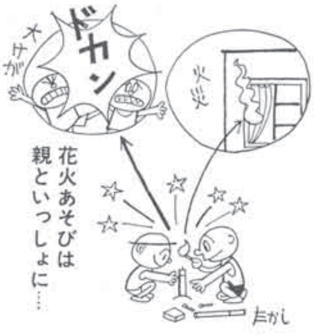
六月始めに予定していたのが、災害で延期になっていたもので、同校三年生は災害事故でなくなった同級森田久子さんの写真を持って行き「楽しみにしていた修学旅行をいっしょに…。」と話しあっています。久子さんの写真は、事故以来、おともだちの手で机の上に置かれ、花がかざられていました。

テント貸します

夏を楽しくすごしてもらおうと町教育委員会では七月一日からキャンプ用のテントの貸出しをしています。対象は、町内に住んでいる人で、高校生以上の責任者がいるグループ。

ただし若い女性だけのグループにはお貸しいたしません。料金はいりません。申し込みは一週間前に町教委へ。

キャンプにいったときは火やゴミの始末を完全にして他人に迷惑のかからないように気をつけましょう。



花火あそびは親といっしょに…

こども百科

使った予算は、5万8,000円

町が、46年度中に使ったお金は、3月末現在で、3億4,715万7千円で、町民ひとり当たりにすると、5万8,192円になります。

このうち大きな割合をしめるのが、教育費で9,229万5千円。これは笹尾、広根のプールや、万善の教職員住宅をつくったり、みなさんが勉強しやすいように学校の設備をよくしたりしたお金です。

なお、町民が納めた税金は、ひとり当たり、1万753円になります。

町役場に特設消防

町では、町役場に、消防の特設分団をつくる計画を進めています。

町役場に消防本部をもうけ、消防自動車もおき、1班2人、2班2人の計4人で、10月から夜間と日曜、祭日に交代で消防任務にあたります。

町の消防団は、31分団500人ですが、最近は町外へ勤めにでるひとがふえ、さっそく出動できる団員が少なくなったためです。

ゴミ1世帯から12袋

町が、昨年中に週2回の回収で、集めたゴミは1万7,287袋。1世帯当たりにすると、11.5袋のゴミをだしたことになります。

45年は、2,860袋、1.9袋で、いっきょに約6倍にふえたわけ。

ふるさと昔話

古い歴史を持つ私たちの町は、いろんな民話や伝説が残されています。そのうちから今月は、銀山にまつわる、むかしばなし、を紹介しましょう。

城（じょう）壁（へき）に竹（たけ）の皮（かわ）

むかし、銀山町近くの城山に、お城がありました。多田源氏源行綱が城主のとき、能勢地黄との戦いが始まりました。

能勢の兵は、山下城を攻め落とし、その勢いで、城山を攻め立てました。ところが、どういうわけか城壁に、よじ登ることができません。

城壁には、敵の侵入を防ぐために、よくすべる竹の皮が張りめぐらされていたからです。

能勢の兵も、これには困りました。攻めあぐんでいたところ、近くの村の人から、こっそり、よいことを聞きました。「城へ入る間道がある」というのです。そこで、能勢の兵はこの間道づたいに、城の裏口から侵入、竹の皮を焼きはらい味方を誘い入れたので城山は、あえなく、落城してしまいました。

城主行綱は、内通を怒り悲しみました。兵を嶽山の尾根づたいに落ちのびさせたあと、金の鶏の置物を抱いて、城中の井戸に身を投げました。

それから、毎年、元旦にはその井戸あとから、鶏の鳴き声が聞こえるといわれています。

37

鉱山近くにある金山彦神社。鉱山関係者がおまいりすること

坑（こう）内（ない）に宝（たから）かくす

天下をとった豊臣秀吉は銀山を重要な財源としていました。それだけに、秀吉の採鉱は、大がかりなもので、手がけた坑道は五十九カ所。二十数年にわたり、七億二千三百万両に相当するものを採鉱したといわれます。

ところで、この銀山を閉鎖するとき、とても悲しい話が残されています。

まず、労働者を立ちのかせ、労働に使っていた死刑囚だけに残るように命じました。そして、いまの価値にして、数兆円の金銀財宝を、こっそり、坑内に埋蔵させました。

それからが、たいへんです。死刑囚をそのまま、坑道内に生き埋めにしたからです。秘密がもれるのを恐れたからでしょうか。

こんなことがあってからこの坑道を「死罪人まぶ」（間歩＝坑内のこと）死刑囚の働いていた坑内を、「罪人まぶ」と呼ぶようになりました。

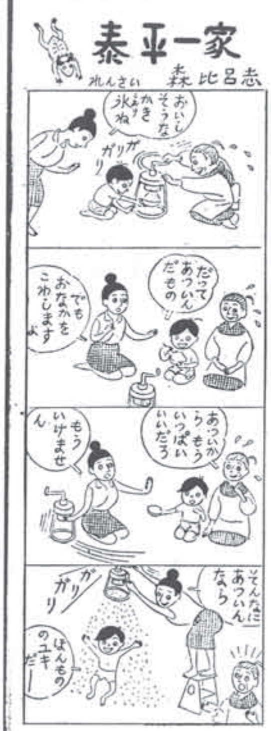
そのころ、銀山には、お寺が三つありました。嶽山には、陀華山観音寺があり罪人を、このお寺でこの世の別れをさせてから、処刑したとのことです。

寺のあったところは「ろうが谷」と呼ばれ、この山の近くで炭焼きをすると、不思議に山火事が起きるとつたえられています。

観音寺は、その後山一つへだてた肝川の陽泉寺に移されました。

泰平一家

れんさい　森比呂志


おいしそうな かき氷ね
ガリガリ
だってあついんだもの
でもおなかを こわしますよ
あついから もういっぱい いいだろ
もういけません
そんなにあついんなら
ガリガリ
ほんものの ユキだー

チビっこひろば

とびばこ

（六月一日の日記より）

猪名川小六年　福井　篤子

ものすごくうれしかった
五時間め。
いちばん苦手な跳び箱です。
それを今からやるのです
三段から始めた。
全力で走った。ふみきり板が「バーン。」となった瞬間、マットの上に私がいた
四段へ行った。そこには藤野さん、坂口さん、岡本さん、脇田さんがいた。
私は、三回も四回もとべなかった。でも、目標が三人も四人もいる。
藤野さん、岡本さん、脇田さんはとべた。
坂口さんが
「がんばろな。」
といってがんばった。すると坂口さんはとべた。
坂口さんが「私でもとべてんやから、篤ちゃんでもとべるわ。」といってくれた
私はうれしかった。
ふみきり板のところでとまらないで、おもいっきりジャンプしてみた。そしてとびばこの前の方に手をついたらとべた。
私はものすごくうれしかった。
私は努力してこそ何かが育つような気がした。

自分がいやになる私

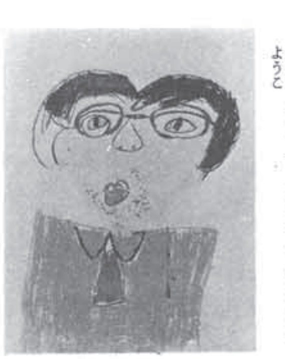
六瀬中二年A組　吉中　和代

時々、自分がいやになる
私、
どうしてだろう……
自分で考えることもできる
自分で働くこともできる
自分で遊ぶこともできる
なぜ、いやになるんだろう
けんかをした日
夜、外に出て
暗い夜空を見ていると
つくづく自分がいやになる
あの時、あの人に、
あんなことを言わなければ
よかったと思う
こんな時、自分なんか
生まれなかったらいいのに
と、思うことがある
自分がいけなかったら
考えることも
働くことも
遊ぶこともできないけれど
死ななくてもよい
自分はいつの日か死ななければならないのに
と思うと、悲しくて
ひとりで涙を流す時もある
こんな時、ほんとうに
自分がいやになる
地球よ、宇宙よ、
なぜ、私を生んだ
一生、おまえを恨むかもしれない
でもいいの
今、自分自身を知ったから

おじいちゃんとけんか

楊小三年　林　理佳

わたしは、日曜日の朝がいやなのだ。学校へ行くのが一番いいのだ。どうしてかというと、おじいちゃんと いつも 日曜日の朝は けんかばっかししてしまうのです。わたしは、ほんとうは おじいちゃんとけんかをするのがいやなんだ。でも、かってに 手や足がうごいて おじいちゃんのところへいってしまう。どうしてなんだろう。しまいに、お父さんか、お母さんに、「また けんかしとんのーやめー。」と おこられる またあとから、大きな声で「外へほりだされるぞ。」と おこられる。それから わたしは、おじいちゃんの方へ行って「おまえの母さんでべそ。」といって、あとから「おじいちゃんごめん。」と、あやまりに行く。



おとうさんのかお

おとうさんは、とてもやさしいので、だいすきです。おとうさんは、おさけもビールもたばこもすきです。大島ようちえんにしざわようこ

しょうぎのこま

楊小五年　林　美子

「おおて。」と いって
パチンと音をたてて しょうぎ板に強くおく。
かわいそうに しょうぎのこま。
ペタンと しょうぎ板の上に ひっついている。
それでも人間は、また
パチンと音をたて おく。
しょうぎのこまは「いたいなあ、人間は らんぼうだなあ。」と いっているよう
しょうぎのこまだって
ちゃんと立つのに むりに しゃがませる。
おとうさんも しょうぎをする。わたしは ときどき「しょうぎのこまが かわいそう。」というと、おとうちゃんは わらう。でも
ほんとうに かわいそう。
だれも、しょうぎのこまのことは なんにも 思っていないのかな。

なまず

阿古谷小　上殿　和子

うちはそとの水そうで
なまずをかっている。
けれど
そのなまずはドンカンだ。
毎日手をあらっているのに
あがってこない。
あばれずにじっとしている
あがってきてもいじめない
のに。
しんでいるように
じっとしている。
小さいひれと
小さいしっぽじゃ
うごけないのかな。

おじいちゃん

阿古谷小五年　福井　敏之

おじいちゃんは とても機械をつかうのが とくいだ
だからこううん機も 草かり機も、自動車も 軽い
しゅうりだったら
じょうずに やってや。
この間ミゼットのしゅうりに とりかかった。
だが エンジンのところで
失敗してつぶしてしまった
機械に強い おじいちゃんも ときどき失敗する。
もう年かな。

おとうさんにあげる詩

猪名川小三年　上田秀次

ぼくは、おとうさんが大すきだ。
日曜日ものんびりしないで
はたらくおとうさん
顔をさわるとざらざらする
おとうさんのひげ
おこるとかみつきそうなおとうさんの口
でも、大すき
いつまでも長生きをして、
世界一のおとうさんになってね。

山だらけ

阿古谷小二年　川端　直子

あとたには
学校のまわりも
山だらけ。
どちらをみても
山だらけ。
わたしの家のまわりも
山だらけ。
でも、このごろ
学校のうらに
ゴルフ場ができる。
もうすこししたら
なにだらけになるかな。

れんげの花

中谷中三年B組　山田ちあき

れんげの花を見つめていると、
過去のことがよみがえる。
たくさん摘んだことを思い出す。
蜜の甘さを思い出す。
過去と同じように、
たくさん花を摘んで、
蜜の甘さを知ったけど、
幼いころ知った甘さではなかった。
きっと
流れる年月にれんげも、
変えられてしまったのだろう。
だけど、
れんげはわたしに言う。
変えられたのではありません。
あなたに過去のことを、
思い出してもらおうと、
わざと変わっているのです

運動場での児童朝礼

大島小五年　森田ほづみ

からりと晴れた
運動場での朝礼。
ときどき小鳥が飛んできて
楽しそうに遊ぶ。
太陽の光が
わたしたちを照らしてくれる。
わたしたちはその光に
照らされて一日の活動をはじめる。
太陽の光は、やさしくて気持ちがいい。

俳句

中谷中二年

○三草山いつまでもつかあの緑　熊井　毅
○離れ去る落葉の命今ここに　東尾登美子
○春びより小川のほとりすみれ草　落久保照美
○春うらら教えの声も子もり歌　北山　喜昭

大島小六年

福井京子
○夕ぐれに散歩してるや三びきの蛍さびしき笹の葉のかげ　西山利花
○電燈が一つしかない教室のみんなの願いもっと明るく　山口泉美
○雨が降るかわずゲロゲロ二部合唱　前中智恵子
○つゆ雲だかえるよろこびゲロゲロゲ

からす

大島小五年　田中偉津美

からすが、でんしんばしらにとまっている。
わたしの方を見て
目をきらきらさしている。
くちばしをとがらせ
ガアー　ガアー　と
きみの悪い鳴き声。
きみの悪い顔でこちらをむいている。
からすは、黒あくま。

短歌

中谷中二年

○雨あがり久々に見る太陽の美しきかな七色の光　西村重幸
○山々の緑は今やけずりけりあぁこの先はどうなることか　喜多幸子
○もちいれば幸あるというこの草は友にもらいし小さな四つ葉　壁屋公子
○春の日によく日のあたる縁側で一人で待ちし郵便屋さん　福西初美
○花が咲きひばりさえずり子すずめもとこと歩く春のあぜ道　住野恵子